

# これからの保育に必須の専門的な 知識と技能を持つ保育者養成講座

講座趣旨：現在、日本の教育改革が行われ、2018年度より新しい保育指針が施行します。グローバル時代に適応する教育として、従来の読み書き計算を教え訓練する学習の疑問から、ますます21世紀を生きる力とは何かが目されています。急増する発達障がい児への具体的な支援方法や、教育そのものの見直しが必要となってきました。「乳児期からの手厚い保育とは?」「一斉保育はダメなの?」「新年度が始まり何か今までの保育を変えたい。」「子どもが主体的に動くとは?」「今話題のアクティブ・ラーニングの導入は?」など、これからの保育現場において、新・保育指針に沿った正しい就学前教育カリキュラムと実践を学び「各園の保育課程作成」を行うことができる専門的な知識と確かな技能を持った保育者が求められています。

**連続講座 全4回 (10:30-14:00) 定員：20名 受講料無料 ※1講座より受講可能**

第1回 6月30日(土) 「子どもの自尊と自律を育てる保育環境～保育室のデザイン～」

第2回 7月28日(土) 「乳児育児担当制(アロマザリング)～新しい保育の仕組み」  
「ちょっと気になるを見逃さない【乳児編】赤ちゃんマッサージ」

第3回 9月15日(土) 「21世紀を生き抜く力～なぜアクティブ・ラーニングなのか～」  
「保護者プログラムとドキュメンテーション」

第4回 10月6日(土) 「ちょっと気になるを見逃さない【幼児編】小学校にいくまでに」  
「セラピー教具は子どもの認知活動にどのように役立つのか」

各講座内容は裏面を

11102V12403

講師：NPO法人国際臨床保育研究所 勝山 結夢(かつやま ゆむ)  
NPO法人国際臨床保育研究所[奈良県] 所長 故辻井 正のもとでピラミーデやアクティブ・ラーニング(プロジェクト型幼児教育法)、乳児期のCARE(養護)と幼児期の教育が一体化された幼児教育理論やセラピー教具の必要性を学び、これらを基に「おもちゃセラピスト」として、保育や教育の現場での研修、講座を通して支援としてのセラピー教具の普及活動を行う。



**講座開催場所／お問い合わせ先：認定こども園りっしょう子ども園 担当：守山**  
【〒997-0045 山形県鶴岡市西新斎町2-31 電話0235-33-8772】



# 講座シラバス (内容)



10:30~14:00

日時	内容 (休憩を含みます)
第1回 6/30 (土)	<b>「子どもの自尊と自律を育てる保育環境～保育室のデザイン～」</b> 保育室に登園してくる子どもの75パーセント以上が不安感を抱いていることが分かってきました。これらの不安感を保育室の環境や保育者の関わり方で軽減させることができます。保育室を伝統的な「静的保育型」から、グループに分かれて子どもが自主的に動く「動的保育型」に変えることで、落ち着きと耳の育ちが起こります。「動的保育型」の三次元の保育室のデザイン実際にワークショップで作って学びいただきます。
第2回 7/28 (土)	<b>「アロマザリング～新しい保育のシクミ～」</b> <u>準備物：赤ちゃん人形（あまり小さくないもの）</u> <b>「ちょっと気になるを見逃さない[乳児編]赤ちゃんマッサージ」</b> 保育士が一斉に子どもを世話する一斉型の保育から、一人ひとりの発達や生活リズムに合わせた保育方法が注目され導入されているところが増えています。保育士と子ども間の愛着形成に基づく乳児担当制保育の実践方法と、昨今ブームにもなっている赤ちゃんマッサージを園で取り組んで頂けるよう実践を通し学びいただきます。
第3回 9/15 (土)	<b>「21世紀を生き抜く力～なぜアクティブ・ラーニングなのか～」</b> <b>「保護者プログラムと保育記録法」</b> 今の子どもが大人になったとき、65%以上の仕事はなくなっているというニュースが話題になりました。従来の大人（保育者）から一方的に知識の伝達を行う教育法ではもはやこれからは生きていくのに必要な力を身につけてあげることができません。子どもが自ら考え、選択し、自己決定しながら幸福感を感じ生きていくことが社会を支える基盤を成すことにオランダが早くに気づき教育改革を行いました。ピラミーデ幼児教育法の動的心理学という強い理論背景を通して、体験型共同学習の必要性を学びいただきます。
第4回 10/6 (土)	<b>「危険因子を見逃さない～[幼児編]小学校に行くまでに～」</b> <u>準備物：動きやすい服装での参加</u> <b>「セラピー教具は子どもの認知活動にどのように役立つのか」</b> 経験豊かな保育者が気になる問題には理由があります。ちょっと気になる子どもに頭を悩ませているというお話を園場の先生方よりお聞きします。しかし多くの保護者や保育者は、子どもが小学校に入ると、じっと椅子に座り先生の話聞き、自分で教科書を開くものだと思っています。子どもの多動性、聞く力、視覚的な判断は、脳の前庭系と呼ばれる感覚受容機器と関連があることが分かってきました。これらを成熟させる感覚運動を実践的に学びいただきます。午後からは、脳の発達理論を元に開発されたアメリカのセラピー教具の理論、遊び方を学びいただきます。

**お申込書を0235-33-8773までFAXをお願いします**

ふりがな  
受講者名：

ご連絡先：〒

電話番号

★ご希望の講座に○をおつけください **6/30 7/28 9/15 10/6**

▼お車で越しの方は子ども園駐車場をご利用くださいませ。

